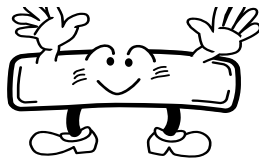


取り付けと接続

1. はじめに

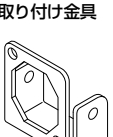
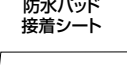
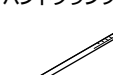
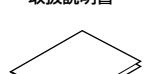
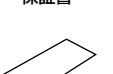
次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

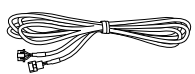
- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」をお買い上げの店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、操作も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- 本機の取り付けには車体に穴あけ加工をする場合があります。加工部の防錆処理のためタッチアップペイント（市販品）が必要ですので事前に準備をしてください。
- 取り付けの前に製品を取り付けできるスペースがあるかご確認ください。
- 雨や霧の中では取り付け作業を行わないでください。
- 湿気が多いときは、取り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると接着力が低下してはがれる恐れがあります。
- 気温が低い環境や取り付け面の温度が低い場合は、接着力を上げるためにドライヤーなどで取り付け面を暖めてから取り付けてください。
- 取り付けから 24 時間以内は次のことは行わないでください。
 - ・雨に当てない。
 - ・水を掛けない。洗車をしない。
 - ・ケーブルやカメラ本体に無理な力をかけない。
 - ・カメラ本体部のアルミ部分にはアルマイト処理を行っています。そのため、ABS 樹脂部分と若干塗装色が異なる事がございます。



取り付けと接続

1 付属品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

付属部品			
 (0.5m)			 (×4個) (カメラ取付ネジ用2個、 角度調整ネジ2個)
		 (×5個)	 (×4個) カメラ取り付け台固定用 タッピングネジ
			

別売部品
 ダイレクト接続ケーブル (KWX-G001)
(10.5m)

⚠ 注意

- 車種専用カメラパーフェクトフィット（別売）を使用して取り付けの場合、取付説明書に記載されているネジの形状が、本製品付属のネジと一部異なる場合がございます。
- 接続ケーブルは別売となります。上記のダイレクト接続ケーブル（KWX-G001）または車種専用ダイレクト接続ケーブルを別途お買い求めください。

2 車を安全で平坦な場所に停める。

パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。

3 バッテリーのマイナス端子を外す。

	● コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。 ● 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。
--	---

4 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。

5 車から取り付けブラケットごとカーナビゲーション / モニター製品を外す。

6 カーナビゲーション / モニター製品に付いているケーブルを外す。

	● 取り外しの際には変形等が考えられますので、作業には十分ご注意ください。
--	---

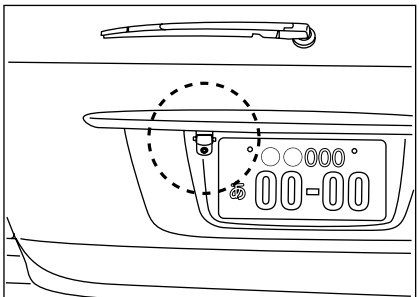
2. カメラを取り付ける

〈車種専用ダイレクト接続ケーブル/取付キット（別売）を使用する場合〉

車種専用ダイレクト接続ケーブル/取付キット（別売）に付属の取付説明書を参照してください。

〈ダイレクト接続ケーブル（KWX-G001：別売）を使用する場合〉

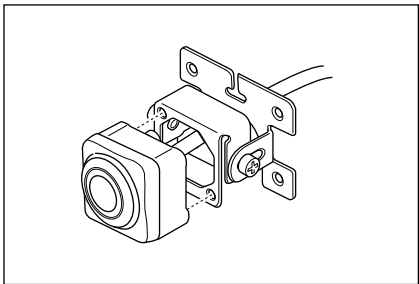
1 取り付け例を参照して、カメラ・取り付け台が車体へ干渉しないことを確認してから取り付け位置を決めてください。

	リアガーニッシュへの取り付け例 ① カメラ取り付け位置の確認をする カメラを取り付け金具・取り付け台に取り付け、車両の取り付けたい位置に合わせてカメラの角度調整を行い、カメラが車両や車両部品にあたらなことを確認してください。 取り付け位置に凸凹がなく平らな面であること、カメラ取り付け台の接着面が全て接着できること、角度調整ネジ（両側）の締め付けができることを確認してください。
--	---

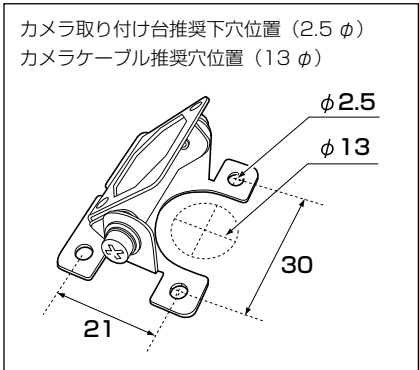
⚠ 注意

- カメラはナンパープレートにかからないように取り付けてください。
- カメラはなるべくガーニッシュの中心にくるように取り付けてください。
左右に大きくずれて取り付けるとイメージと見え方が異なる場合があります。
- バックドアやトランクの開閉時にカメラや、ケーブルがあたらないことを確認してください。

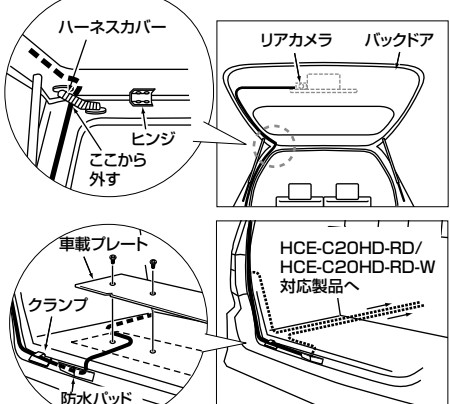
2 カメラとカメラブラケットを組み立てる。

	カメラの取り付け ① 取り付け金具とカメラ取り付け台を角度調整ネジを使用して図のように取り付ける。 ② カメラの上下を確認し、カメラケーブルをブラケットの取り付け金具にとおす。 ・ロコの印刷面がカメラの上面になります。 ③ カメラ取付ネジを使用してカメラを取り付け金具に固定する。
--	--

3 カメラブラケットを車体に取り付ける。

	ケーブル下穴開け カメラ取り付け台推奨下穴位置（2.5 φ） カメラケーブル推奨穴位置（13 φ） ① カメラブラケットを取り付けるおおよその位置を決める。 ② カメラの角度を調整する。 はじめに、カメラを車両進行方向に対して真後ろを向くように調整する。 その後、カメラを地面に対して約 30 度下を向くように調整する。 ③ カメラ取り付け部に、ケーブル配線用の下穴（φ 13）をドリルで開ける。 また、必要に応じて、カメラ取り付け固定用ネジの下穴（φ 2.5）も開ける。 ・金属に穴あけ加工を行った場合、加工穴の断面及び周辺にタッチアップペイントをしっかりと塗り、十分に乾燥させてください。 ④ 取り付け面の汚れやほこりをクリーニングクロス（別売）で拭き取る。 ⑤ カメラケーブルを開けた穴に通し、ケーブルを車体中へ送る。 ⑥ カメラケーブルを通した穴は、防水テープ（市販品）やシーリング剤（市販品）で、しっかり防水を行ってください。 ⑦ カメラブラケットの接着テープ保護紙をはがし、カメラブラケットを車体に取り付ける。 必要に応じて、カメラブラケットを取り付け台固定用タッピングネジで固定する。
--	--

4 カメラケーブルを配線する。

	① カメラケーブルを配線する。 ② 雨が入らないように防水パッドやクランプで配線する。  ● ケーブルの配線の際は、突起部や金属の線などにあたらないように取り回してください。
--	--

5 接続する。

	注意 正しい接続をする。 正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。 接続については、HCE-C20HD-RD/HCE-C20HD-RD-W 対応製品の取扱説明書を参照し、必ずマルチビュアー・バックカメラ入力に接続してください。
---	---

● 基本接続図



3. 確認する

1 コード類を固定する。

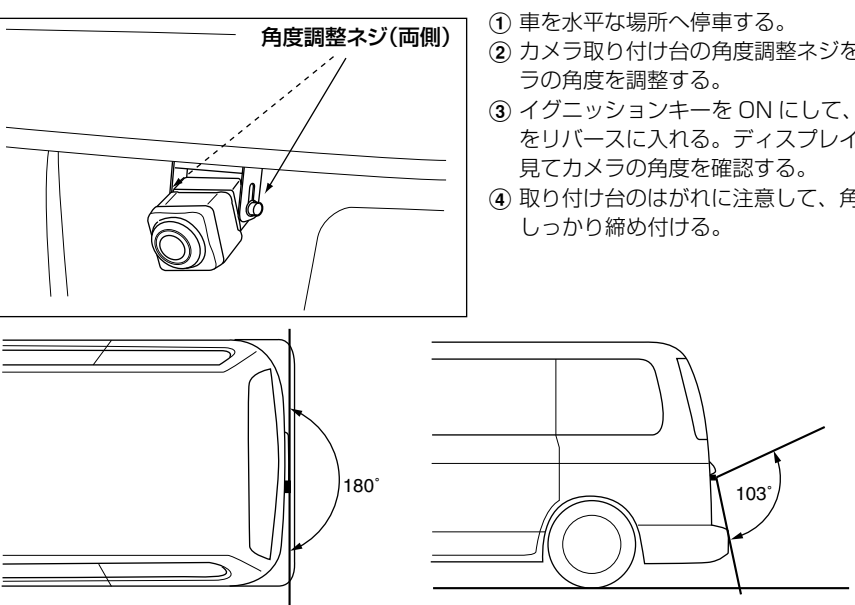
カメラケーブルの配線、固定
付属のバンドクランプでケーブルを止めながら配線を行なう。
カメラコードを車室内に引き込む際は
・ トランク / バックドア、ヒンジ等に咬み込まないように引き回す。
・ ヒンジ・ケーブルカバーの外側を通す。
※ 配線終了後はトランク / バックドアの開閉を何度か行い、ケーブルの挟み込み、こすれ、つぶれがないことを確認する。

ビデオ接続コードの固定
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部にあたったりしてコードを傷めないように注意して配線し固定する。

2 モニターやナビゲーション等、カメラ取り付けのために外した製品を元に戻してから、バッテリーマイナス端子を接続する。

3 イグニッションキーを ON にして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

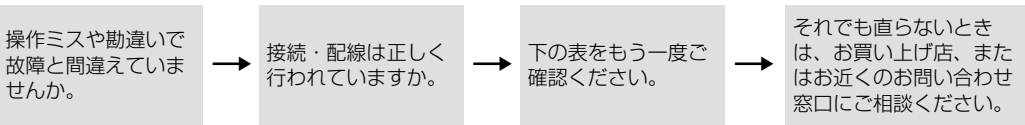
4 カメラの角度を調整する。

	カメラの取り付け 角度調整ネジ(両側) ① 車を水平な場所へ停車する。 ② カメラ取り付け台の角度調整ネジを緩め、カメラの角度を調整する。 ③ イグニッションキーを ON にして、シフトレバーをリバースに入れる。ディスプレイ上の映像を見てカメラの角度を確認する。 ④ 取り付け台のはがれに注意して、角度調整ネジをしっかり締め付ける。  注意 ● カメラの角度を調整するときは、必ずイグニッションキーを OFF にし、サイドブレーキを確実に引いて行ってください。車両が動くと事故の原因となります。
---	--

5 ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

その他

故障かな？と思ったら



カメラの映像が出ないなど正常に動作しなくなった場合は、操作にもついてもう一度操作しなおしてください。それでも正常に動作しないときは、下表を参照して処理を行ってください。

故障かな？（症状）	お答えします。（原因）
カメラの映像が出ない。（カメラ以外の映像は正常）	
イグニッションキーが ON 以外の位置になっている。	⇒ イグニッションキーを ON の位置にしてください。
ヒューズが入っていないか断線している。	⇒ ヒューズを入れるか、原因を確かめてからヒューズを交換する。
正しく接続されていない。	⇒ 本取扱説明書を参照して正しく接続されているか確認する。
ディスプレイのリバース線が接続されていない。	⇒ ディスプレイの取扱説明書を参照してリバース線を接続してください。
ディスプレイのカメラ入力にビデオ接続コードが接続されていない。	⇒ ディスプレイの取扱説明書を参照してカメラ入力にビデオ接続コードを接続する。
カメラの映像が正常でない。（カメラ以外の映像は正常）	
ディスプレイの画面がちらつく。	⇒ 蛍光灯などで照らされた場所を映した場合、ディスプレイの画面がちらつくことがあります故障ではありません。
次のようなとき画面が見えにくくなりますが、カメラの特性で故障ではありません。	⇒ 暗いところを映したとき 部分的に明るい光を映したとき カメラ本体部付近の温度が高温のとき
画面が見えにくい。	⇒ 暗いところを映したとき、部分的に明るい光を映したとき、カメラ本体部分の温度が高温のとき、画面が見えにくくなりますがカメラの特性で故障ではありません。
カメラの映像がゆれる。	⇒ 取り付け台がはがれていないか、角度調整ネジが緩んでいる。
カメラの映像が不鮮明。	⇒ カメラのレンズが汚れている場合は柔らかい布に水を含ませて軽くレンズを拭いてください。
画面に白線（光の縦線）が出る。	⇒ 太陽光を直接映したり、強い光（ボディからの反射やヘッドライト等）が入った場合、光源の上下に明るい縦線が現れることがあります（スミア現象）。→故障ではありません。
他	
ラジオにノイズが入る。	⇒ シフトレバーがリバース時にラジオにノイズが入るときは、カメラのケーブル、ビデオ接続コードを車両のワイヤーハーネス・ラジオのアンテナ・アンテナ線より離してください。